

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
新規採用職員への加入しようよう (R4 年度)	随時	また、研修アンケート依頼に併せて各分会役員から個別に加入しようようを実施。(10/11 現在の加入実績…大卒 5/9、高卒 1/2、係長級 1/1、海事職 1/1) 未加入者に対しては、執拗な勧誘と受け取られないよう時期をみて執行部を派遣する等して加入しようようを引き続き実施する。
各種研修生との昼食会	随時	「監視実務研修」および「審理事務研修」を受講した組合員と、執行部役員で昼食会を実施。広い会議室にてコロナ対策を講じて意見交換を行った。
組合員アンケート	7月～8月	例年、人事異動期に組合員に対してアンケート調査を実施。本年は「人事異動」「住環境」「コロナ対策」「組合活動」等について実施した。回答については、税関長交渉にて要求していくこととしている。(現在集計中)
級号俸調査	7月～8月	上記組合員アンケートと併せて、全組合員を対象に、在籍年数を調査対象として、長年同級に据え置かれている組合員の実態把握を行った。(現在集計中)
署所・分会オルグ	1月～3月	コロナの状況にもよるが、感染予防を徹底のうえ集合開催とし、執行部役員を署所へ派遣して組合員の意見集約を行う。 従来は組合員のみが参加していたが、未加入者(特に若手及び新規採用職員)を交えて、組合の意義や活動内容について改めて周知する。
青年レク(冬レク)	1月～3月	青年層組合員の交流と親睦、組合への理解を深めることを目的としたレクを企画したが、コロナウィルス感染急拡大の影響で中止となった。 ただし、昨今の情勢を鑑みて大人数でのイベントではなく、少人数でのものから検討を進める。
未加入者への加入しようよう	随時	未加入者および定年退職後の再任用職員に対し、委員長から文書等を送付することに加え、分会役員からも声掛けすることで加入しようようを行い再任用 1名、青年職員 3名加入するに至った。

## 東京地区本部

### 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 日付・期間	活動内容等
オルグ	例年 2月～3月	直近はコロナの影響もあり実施できていなかったが、今期はコロナの様子を見て、感染対策のうえで実施をしたい(意向)。ただし、コロナの感染状況によっては、中止となる可能性もある。
地区委員会	10月 22日 (直近)	税関長交渉の前に各分会の分会長を集め、各分会の抱えている問題について意見集約し、税関長交渉のタマとする。
レク	随時	今年もライン公式アカウント(教宣用)の新規登録(特に新職)を兼ねたオンラインレク(選べるレク)を実施予定。また、コロナ次第ではあるが、スキーレク(青年部)、バスレク(ファミリーレク)を企画中。また、官(厚生)によるインフルエンザの接種負担金額が 1,000 円から 3,000 円になったのを受け、一定程度の補助を出すことを検討中。
地本・分会ニュース	随時	不定期ではあるが、税関長交渉、各種レク等のニュースを、ライン公式アカウント(月 5,500 円)を使用して発行している。10月 9 日現在、登録者数は 1,424 人。 なお、ライン公式アカウントは基本的に組合員を対象としているため(登録できないわけではないが)、幹部(税関長～各官署総務課長クラスまで)については別途、新聞(紙)を発行。 なお、前事務年度に行っていた「執行部の予定」については、浅野が引き継ぐ形で再開。
執行委員会の開催 (開催頻度)	随時	随時実施。また、「執行委員会」という体は取っていないが、特に本関勤務役員が昼に集まり、情報交換をするようにしている。
アンケート等	年末	毎年、年末に職場総点検アンケートを実施。3年くらい前までは紙ベースで配布をし、回収したものをエクセル等に入力していたが、今では LINE 公式アカウントを使って周知をし、GOOGLE アンケートフォームを使って効率的に回答結果を集計している。
配転希望調査	年末	配転希望調査を実施し、異動を希望する組合員の声を聴き、4月または7月異動につながるよう活動を行う。
所属長交渉等 (分会の交渉等)	随時	税関長交渉は例年通り 12月と 6月に実施予定。その他分会については、必要に応じて実施。実施をしない分会については要求書の提出だけでも実施予定。

施策名・活動名	実施時期 日付・期間	活動内容等
その他	随時	前期の取り組みを引き継ぎ、「お菓子配布レク」等により、組合員が組合事務室に来たいと思える組合事務室づくりを実施予定。
要求書の提出	8月9日	新型コロナ感染症急増にかかる要求書を提出。
要求書の提出	9月～10月	新型コロナ感染症により、併任発令により人員が減った成田税関支署、羽田税関支署及び個別事情により人員の減った新潟税関支署(直江津出張所)について、人員要求の要求書を分会より当局に提出。 • 成田税関支署、羽田税関支署(9月中) • 新潟税関支署(10月17日)

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
オルグ	随時	<p>組合員から開催要請のあった分会等及び執行部として意見聴取が必要と判断した分会等につき「職員団体役員と組合員との意見交換会」と称し実施予定。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染再拡大の影響も懸念されるため、開催が出来ない場合は、下記「職場総要求」や個別の連絡等により、随時、組合員から意見聴取する。</p>
レク		<p>8月に全組合員に対し「レク実施可否」のアンケートを実施したところ、6割が「無条件で不要」と回答している。</p> <p>また、「周囲の理解が得られるとは思えない」との意見もあり、当地区本部としてレクの実施は難しいと考えており、今期は実施する予定はない。</p>
地区本部ニュース及び スタンドポイント	随時	<p>主要行事終了の都度、適宜発行する。</p> <p>なお、組合員のみならず、非組合員に対しても、職員団体活動が目に見える唯一の媒体であることから、職員団体の役割や必要性の記事も掲載して加入促進を促したい。</p>
旗開き		<p>以前は横浜税関本関食堂にて実施していたが、これまでの参加者の顔ぶれが一定となっていることから、令和2年に組合員から実施の必要性について意見があり、費用対効果も鑑み開催を中止した。それ以降、コロナ禍もあり旗開きは実施していない。</p> <p>教宣紙にもその旨掲載したが、特段の意見・反応はなく、今後についても開催予定はない。</p> <p>組合員からの意見聴取については、下記の「職場総要求」において行っており、旗開きで意見聴取する必要性はない。また以前とは違って、コロナ禍の中で多人数を集めて飲食の場を設定することは難しい。</p>
アンケート	8月～9月	次期役員選挙と合わせて、7月期人事異動に係る諸手当アンケートを実施した。
職場総要求	9月～10月 4月～5月	毎年9月及び4月に全組合員へ「職場総要求」に関する意見を求めている。 今期についても9月時点での要求調査実施中。

名古屋地区本部

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
オルグ	2～4月	コロナ禍によって、3年実施できなかった。今期は開催する方向で進めているがこれまでより、新型コロナウイルス感染症の影響が深刻でなければ、2月から4月にかけて開催する。 警戒宣言等が出ていた場合は、社内LANを利用し、各分会や職場連絡員等を通じて、組合員の意見を聴取し、6月の税関長交渉や職場諸要求に備える。
ファミリーレク	3月	組合員の連帯・親睦を深めること及び組合員の家族サービスのお手伝いをすることで、組合活動について組合員とその家族から理解を得る目的のためにバスレクを企画予定。 例年、バスを貸し切り、BBQといちご狩りを行う。現地集合も可とするなど、柔軟に対応している。 今期もコロナ禍の状況みて中止を含め、柔軟に対応予定
斡旋物資販売	12月	組合員への福利厚生の一環として、毎年年末時期に合わせ、お菓子詰め合わせ、家庭用常備薬、丸大（ハム）ギフト、カシオの時計（Gショック等）を業者と交渉し安く斡旋。 配送料は組合側で負担。
旗開き お楽しみ抽選会	1月	コロナ禍が収束していれば、旗開きを実施予定。 旗開きに参加できない組合員を対象にお楽しみ抽選会を実施 収束していなければ、新聞によるお楽しみ抽選会のみを実施。
執行委員会の開催 (開催頻度、議題及び 内容など)	月1回程度	税関長交渉やその他、必要に応じて開催。 情勢把握や職場での問題点の確認を行う。
分会代表者会議	4月、10月	税関長交渉の議題について、分会代表者の意見を求めたり、職場の問題点、改善点の洗い出しを行う。 今期10月は、コロナ禍が収束していないため、電話、メール等での聞き取りのみ、 4月はコロナ禍が収束していれば、対面形式での開催予定、収束していなければ、10月と同様。

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
オルグ	適宜	組合員への活動内容の報告と未加入者への勧誘を兼ねて適宜実施する。飲食を伴うためコロナの感染状況を考慮し落ち着いている時期を選んで実施する。
所属長交渉	12月、6月	例年通り期間中2回実施したい。オルグや組合員へのアンケートを基に、執行委員が実際に感じている問題点について改善を求める。
教宣	適宜	横書き、カラフルな写真掲載を多めにして見やすい教宣作りに努める
旗開き	1月	前期はコロナ禍のため開催せず代わりに福引抽選会を実施した。
アンケート等	秋、春	所属長交渉に向けて組合員の率直な声を集めたい。可能な限りタイムリーな話題に関するアンケートを作成したい。
執行委員会	適宜	前期はコロナ禍のため集合形式ではなくLINE等での開催になったが、今期は顔を合わせて開催したい。
近隣地本との連携	適宜	神戸地本や名古屋地本と連携して学習会やレクを開催したり、役員会議等を開催して意見交換を実施したい。
青年レク	適宜	青年組合員の声を聞いて開催可能かつニーズのありそうなレクを計画したい。

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
・本関地区オルグ ・支署地区オルグ	・10月～11月 ・1月～3月	・昼中心に実施。夜も実施するが少人数・短時間とコロナ対策を徹底したオルグを実施。 ・例年年明けに実施しているが、直近で問題を抱える分会（地区）には年内であってもオルグを実施する（空港再開に伴い異動の話が出ている高松空港（済）、広島空港、岡山空港など）。
・青年レク ・分会レク	・未定 ・都度	・前期は青年部 USJ レクを実施。今期もコロナ対策を徹底したうえで支署レク等実施予定。 ・各分会にアナウンスし、実施したいという声があれば調整・実施を。
・地本ニュース	・毎月	・毎月発行を目指すが、必要に応じてそれ以上の発行部数を目指す。
・旗開き	・1/13(金)	・前期はコロナ対策を徹底し実施。受付にて検温及び消毒、立食を透明パーテーション付きテーブル着座式へ変更し飲み物は取りに行かず運んでもらう、檀上と司会席には透明パーテーションを、席を立つ際にはマスク要着用。計 27 名が参加し、コロナ感染者はゼロ。
・異動アンケート	・4月 ・7月	・異動期に併せてアンケートを実施。
・所属長交渉等	・12月(1回目) ・6月(2回目)	・例年通り実施予定。現在第1回目の予備交渉（10/31P）。
その他	・他労組関係 ・あっせん等	・前期もコロナで全大蔵関西会議等友誼団体との活動が不可能であった。今期は活発的に活動に参加し、他労組と情報交換を行い、斡旋等当労組で有効なものは積極的に取り入れる。 ・白石薬品のあっせんを今期も継続して実施。また、web 環境の整っていない組合員の在宅中等科研修用に貸出用モバイル Wi-Fi を労組で契約（1台）。前期も今期も貸し出しは好評。

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
夏レク（水族館レク）	7月	昨期（門司地本第59期）は、組合員同士の交流を図る目的で水族館レクを実施した
例）中央・地本・分会 ニュース、地本独自の活 動	適宜 11月 5月 2月及び6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地本ニュースの発行（適宜、昨期は10号の発行を行う）</li> <li>・組合員の福利厚生、感染症予防対策を目的とした衛生用品の配布を行った</li> <li>・全大蔵労連九州会議ボウリング大会への参加</li> <li>・門司地区の連合他組織と連携したティッシュ配布</li> </ul>
執行委員会の開催	基本1回／月 (全体集合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の課題や、組合の行事予定等について話し合う。四役（委員長、副委員長、書記長、書記次長）は緊密に連絡を取り合い、随時情報の共有を図っている</li> <li>・個別案件（組合員からの相談によるもの）については、随時開催を行い情報の共有と執行部としての対応を決めている</li> </ul>
アンケート	3月及び6月	人事異動（内示）時期に合わせてアンケートを実施。異動が本人の意向に沿ったものか、職場に問題が無いか等を記載し、内容により当局への申入れを行う
所属長交渉等	12月及び6月	12月及び6月に税関長交渉を実施、現場職員の意見・要求を届けた
その他		

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
青年レク	随時	青年層組合員の動きが活性化することが、今後の組合の組織率向上にも大きく寄与すると思っている（動いているかわからない組織に加入しようと思わない）。三役、青年部長、各分会長が連携しながらレクの実施を働きかける。
研修に出席している組合員との意見交換	随時	今事務年度は集合形式による研修が実施されている。研修生は青年層を中心であり、職場の声を聴く絶好の機会であることから書記長、青年部長を中心に調整して意見を聞く場を設ける。
アンケート、給号俸調査	年内	組合員全員を対象としてアンケート、給号俸調査を実施し、回答結果を交渉に反映させる。
オルグ	随時	コロナ禍でもあるので、執行部が管内署所を回るかどうかは、分会長や連絡員と調整しつつになるが、組合員の声を実際に聞くことができる機会。活動報告や意見交換を行う。
新聞	随時	中央が掲載しているろうきんや福利厚生事業、組合活動（取組み、用語の意味等）を新聞等で周知する。今車を持たない職員が増えている中でタイムズカーシェアは有効な選択肢としてうつるだろうし、活動についても自分ができないところを組合がやっていると感じてもらえると少しは良い方向に動くのではないか。
斡旋、補助	随時	前期好評であったインフルエンザ予防接種の補助（組合員の家族を対象）は継続、マスク購入費の補助について、今期実施を検討。
旗開き	1月	3年ぶりの開催を目指し調整中。組合の意義を組合員に共有したり、組合員の生の声を聴くことができる貴重な場所として重要なものと考えている。
執行委員会	月2回程度	過去に経験者もいるが、前期と半分以上執行部役員が入れ替わったことから、執行委員会の実施及び中央情勢等を共有していくことで、執行部役員自身にも組合の知識を持ってもらう。

## 議題1 草の根活動取組状況

施策名・活動名	実施時期 (日付・期間)	活動内容等
職場オルグ	11月、5月 (約1ヶ月)	税関長交渉に向けて、各職場の現状把握するために、できるだけ現場に赴き組合員と面談し、話を聞く。また、組合活動へ希望すること等、要望について聴取する。 ※今のところ、第1回税関長交渉に向けたオルグについて集合で実施予定であるが、コロナの状況次第では書面アンケートによる意見聴取に切り替える可能性あり
・映画観賞券斡旋 ・インフルエンザ予防接種補助（組合員の家族） ・抗原検査キット購入補助	適宜	組合員からの要望の多い、映画鑑賞券の斡旋、インフルエンザ予防接種の補助（組合員の家族を対象）を行う。コロナ抗原検査キット購入の補助を行う。
地区本部ニュース	適宜	地区本部の組合活動について、組合員に知つてもらうため、教宣等を利用して組合員に周知する。また未組織組合員へも加入慇懃の観点から教宣配布を行う。
旗開き	1月	旗開きを実施し、組合員同士の交流を図る。 ※実施についてはコロナの状況を見極めたうえで判断
加入慇懃	適宜	新規採用職員に対しては、100%の加入を目指す。 7月異動時の組合員加入対象者に対して、本人に直接、間接を問わず、接触の回数を増やし加入慇懃を行う。
組合レク	適宜	バーベキュー（ビーチパーティー）を通じて青年層職員同士の交流を深める。 その他、組合加入へのメリットをアピールするために、参加者を組合員だけに限定したイベント（飲み会、スポーツイベント等で特に内容を限定せず広く活用可能とする）を組合員自身に企画してもらい、内容及び参加者を申請させ、執行部で承認を受けた場合に、一部補助額を支給する取り組みを実施予定。